

社会科学習指導案(本時案)4 学年
単元「事故や事件からくらしを守る」

平成 30 年 9 月 11 日(火) 第 1 校時
授業会場 4 年東組教室
4 年東組 男子 19 名 女子 16 名 計 35 名
指導教官
授業者

1 本時案

(1) 本時の位置 (全 9 時間扱い中の第 7 時)

前時…事故や事件からくらしを守るために、地域の人がどのような活動をしているかを学んだ。

次時…自分が地域のためにできることをもとに、安全マップを作る。

(2) 本時の主眼

身の回りで、子どもの安全を守るために活動している人のおかげで安全に生活できていることを知った子どもたちが、自分たちにも出来る事はないか考える場面で、全体追究や班での活動で身の回りにある危険が潜む場所を考えることを通して、身の回りで危険が潜む場所を考え、登下校時や出かけるときなどにどのようなことに気を付けるのかを考えることができる。

(3) 指導上の留意点

- ・自分たちにできることが具体的になるように声をかける。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	時間	指導・援助と評価
導 入 展 開	1、前時までの振り返りをする。	・地域の人がボランティアで活動してるね。 ・安心の家もあるよ。 ・警察についてもやったな。 ・私たちの安全のために、時間を割いて活動してくれている。	3	○前回までに学んだことをパワーポイントで表示する。
	2、資料から考える。	・一年生が一番多いな。 ・学年が上がるにつれて少なくなるね。 ・すごく多いな。 ・4年間で合計した数なんだ。 ・合計したら 500 人になるよ。 ・最近の事故だ。	7	○資料 1 「歩行中に交通事故で死傷した小学生の人数」題名を隠して提示する。 「 なんのグラフだろう？ 」 「 このグラフから、読み取れることは何かかな？ 」 ○資料 2 「小学 5 年生の男児、軽自動車にはねられ大けが」 「 この周辺では、安全を守る人がいなかったのかな？ 」 ○ワークシートを配布する。
	学習問題：地域の安全のために、自分たちができることはなんだろう？ 学習課題：身の回りで危険が潜む場所を考えればよさそうだ。 3、班で意見を出し合う。	・病院の前の道は、車が多くて危ないよね。 ・信号が青でも、車が来ていないか確認すれば安全だね。 ・歩道からはみ出ないように歩くのも大事だよ。 ・帰り道で不審者にあったことがあるよ。 ・防犯ブザーを持っていれば鳴らせるよ。 ・ランドセルについているだけでは持ち	15	○出来るだけたくさん意見を出そうと呼びかける。 ○事故と事件とを分けてワークシートに書くように促す。 ○何を話し合うかを理解しているかを確認する。 ○机間指導を行いどんな意見が出ているかを座席表に記す。

／ 終 末	4、話し合ったことを発表する。	運びできないな。 ・携帯を持っていれば連絡できるよ。 ・低学年は交通事故にあう人数が多かったから、何かしてあげられないかな。	7 8 5	○子どもからの意見に対して、具体的にどのような場面なのかを聞く。 ○事故と事件を分けて黒板に記入する。 評価：登校時や出かけるときなどにどのようなことに気を付けるのかを考えることができる。 評価方法：つぶやき、発言、ワークシート ○まとめを発表する時間を設ける。
	5、今日から実行したいことを選んで画用紙に書く。	・〇〇は危ないから近寄らない。 ・人数が多くても横に広がらず、縦に列を作って歩く。 ・信号が青でも、左右を確認して渡る。 ・低学年の子たちが、歩道からはみ出ていたりしたら声をかける。 ・防犯ブザーを携帯する ・携帯で連絡が取れるようにする。 ・危険なところを、誰にでも分かるように書いておけばいいよね。		
	5、まとめ	・信号では左右を絶対確認する。 ・防犯ブザーは携帯するよ。 ・出来るだけ妹と帰る。 ・自分でも気を付けて事故や事件に巻き込まれないようにしたい ・今日書いたことを実行していきたい。		